

市外から大勢の人が訪れたキャプテン☆Cショー



## 600万人のお客様に感謝をこめて ふれあいパーク八日市場で記念セレモニー

ふれあいパーク八日市場で2月1日、同施設レジ通過者600万人を突破した記念セレモニーが行われました。

同施設は平成14年3月のオープン以来、農水産物や植木の販売、地元食材を使ったレストラン運営のほか、都市と農村の交流イベントなどを実施してきました。当日、太田市長は「600万人はレジ通過の数であり、実際はその何倍もの人が訪れてくれている。今後も匠瑳市のPRの顔として発信力のあるものにしていきたい」とあいさつ。千葉テレビの人気キャラクター・キャプテン☆Cがショーを行い、訪れた人たちは大いに盛り上がりました。

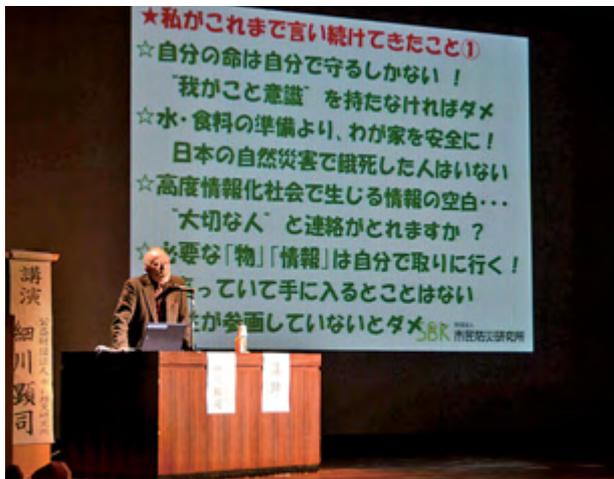
## 日ごろの“学び”の成果を発表 公民館まつり・生涯学習祭

八日市場公民館で2月7、8日に第10回公民館まつりが、野栄総合支所で2月15日に第4回生涯学習祭が開催されました。八日市場公民館、生涯学習センターを利用する各講座やサークルなどが日ごろの学習の成果を発表する両まつり。書道や絵画などさまざまな展示のほか、ステージでは民謡や舞踊、カラオケなどの発表が行われ、多くの人を訪れました。



「童謡・わらべ唄をうたう教室」の発表

「防災グッズは一人ひとりで違う」報道の被災地情報は「一部の情報であり、自分に都合のいい解釈をしてはいけない」など防災の心構えを語る細川講師



## 県民に伝える自助・共助の大切さ 地域防災力向上セミナー

今年度、県主催により各地で実施されている「地域防災力向上セミナー」が、市民ふれあいセンターを会場に2月15日に開催され、各地区の自主防災組織役員や市消防団員を含む多くの市民など211人が参加しました。

市民防災研究所・細川顕司氏の講演や「災害教訓の伝承など」をテーマとしたパネルディスカッションにより、自助・共助の大切さへの理解を深めるこのセミナー。本市からは「共興地区を守る会」の伊藤清会長がパネリストとして参加し、地域で自主的に立ち上げた同会の活動や、地元に残る津波や火災の伝承を発表しました。

## 年に一度の文化遺産と対面 市内各地で仏画公開

市内4か寺に保存されている仏画の一般公開が1月25日、各寺で行われました。公開されたのは、長徳寺（須賀地区）の「愛染明王像」や福善寺（中央地区）の「高野四社明神図」、西光寺（中央地区）の「十王図」など、いずれも国や県の文化財に指定されている仏画34幅で鎌倉時代から室町時代の作品。劣化防止のために公開されるのは1年に1日限りであり、貴重な文化遺産を一目見ようと多くの人を訪れました。



仏画の説明に耳を傾ける（福善寺）

# ～地域の伝統行事～

2月8日

## 時曾根の大蛇まつり



お神酒で大蛇に入魂

豊栄地区時曾根で大蛇まつりが行われました。若者たちがわらで長さ3m、太さ30cmにもなる大蛇3匹を編み上げると、口に厄除け札を入れ、お神酒を飲ませ入魂。集落の入り口3か所の木にそれぞれ吊るし、悪霊退散、家内安全などを祈願しました。

2月8日

## 飯倉新田の獅子舞



各家庭を厄除けする獅子

豊栄地区飯倉で獅子舞が行われました。この日は昔から「事八日」と呼ばれ、疫病神などが来訪する日とされています。地区の若者衆が子安神社で一年の無事を祈願した後、獅子の装束をまとい地区内の家々を訪問し、魔除け・厄除けを行いました。

2月11日

## 松峯神社の御奉射



鶴と亀のしんこ餅を交換

豊和地区飯塚の松峯神社で御奉射が行われ、五穀豊穡を祈願しました。厳粛な儀式が終わると、今年と翌年の当番地区の間で、縁起が良いとされる「鶴」と「亀」をかたどった大きな「しんこ餅」が交換されました。

2月11日

## 村山稻荷神社の初午祭



玉串を奉納する参加者

中央地区八日市場イ・下出羽の村山稻荷神社で初午の神事が行われ、神社総代や氏子衆、役員などが参加。玉串を神前に捧げて礼拝し、一年間の五穀豊穡、無病息災、家内安全を祈願しました。

2月11日

## 稲荷神社の東郷神楽



「出雲」では迫力のある舞を披露

野田地区新堀の稲荷神社で市の無形民俗文化財に指定されている東郷神楽が演じられました。保存会の人たちが装束姿で集落を練り歩いた後、神社の神楽殿で「猿田彦」や「出雲」など6演目を披露。五穀豊穡、無病息災などを祈願しました。

2月3日

## 節分の豆まき



節分の2月3日、各地区の寺社で豆まきが行われました。共興地区西小笹・八幡神社の節分祭Ⅱ写真では、地元・共興小学校の5、6年生の児童が初めて参加。「鬼は外、福は内」と豆を投げ、一年の幸せと無病息災を願いました。